

No.	質問	回答
1	受付にて感染症が疑われる避難者が来た場合、千葉市への具体的な連絡方法を指示してほしい。	対象者を隔離したうえで、本人又は家族等から帰国者・接触者相談センター(043-238-9966)に受診等の相談をさせていただきます。 ※「新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の具体例について」25ページ参照
2	避難先に、神社・寺院などを確認したいのですが実際にありますか。	指定避難所ではありません。
3	備蓄品の再考をしなければならないがどこまで(種類・量)援助されるのかわからない。	感染症対策物資については、最低限必要になる品目は市が調達し、各避難所に配備する方針であり、追加配備が必要か継続して検討しています。 今後、避難所に追加配備する場合には、速やかに避難所運営委員会にお知らせします。  ※市が配備するもの以外にも、避難所運営委員会活動支援補助金を活用して、避難所運営委員会で独自に感染症対策物資を購入することも可能です。
4	運営方針に基づく具体的なマニュアルの入手を希望します。	9月11日付けで各避難所運営委員会委員長様宛てに「新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針の具体例」を送付しております。また、同資料は市ホームページでも公開しております。 なお、現行の「避難所開設・運営マニュアル」の改訂については検討中です。
5	教室利用について、どこまで判断できるのか、各学校で判断できるのか。教育委員会なのか市なのか。	教室利用については各学校の判断になりますので、各避難所運営委員会において、施設管理者(校長・副校長・教頭)と協議をお願いします。 なお、各避難所運営委員会で協議する際に最大限教室利用ができるように、市教育委員会から各市立学校長宛てに、避難者の受入れは教室を優先的に使用するよう通知を发出しております。 県立高校は県教育委員会を介さず、個別に学校と調整することになります。 また、ご要望に応じて、花見川区地域振興課も一緒に検討させていただきます。
6	行政からは必要な物資(段ボールベッド・パーティション)の供給確保をお願いしたい。	最低限の数量として、段ボールベッド・パーティション188セット、防災用テント1,000張を購入しました。 なお、指定避難所には保管スペースがないことから、市備蓄倉庫において保管し、必要な指定避難所に運搬することとしています。 また、不足が生じる場合には、東日本段ボール工業組合との災害時応援協定などにより、速やかに調達し各避難所に供給できるように努めます。
7	学校の空き教室の実態を把握し平時から空にしておいて	No.5参照
8	どこかの体育館で実際のデモを兼ねた研修会を実施しては。	花見川区主催の研修の中で今後実施を検討していきます。
9	発災前に運営委員会へ受付時人員の感染症対策グッズやアルコール・消毒液・ビニール手袋・フェイスガードを大量に準備して発送してほしい(個人防護具)	No.3参照
10	発電機は何台まで借りられますか?(台風等による停電)	停電の状況によりますので、ご要望が多かった場合は緊急性・公平性を考慮した貸し出しもやむを得ないと考えます。(区ガソリン6台、ガスパワー6台)
11	使用可能スペースの確認(体育館のみか。教室は?)	No.5参照
12	各種そなえるべき器具・装置等の紹介	避難所として備えておくべきものは、随時追加配備を考えています。
13	学校の教室の使用が可能になるよう市として検討願いたい。	No.5参照
14	コロナ感染症対策として、避難所箇所毎に最低でも5組防護具等の配備をお願いしたい。	No.3参照
15	現在発生中の台風10号のように風速70m超の場合など自動的に避難所が立ち上がる基準はあるのか。	風水害では明確な自動の開設準備基準はありません。被害が予測される風水害の場合は、状況に応じて(台風接近前等)、指定避難所の事前開設も視野に入れながら開設箇所を選定させていただきます。
16	机・設備の消毒の仕方やカッパ、フェイスシールド等の消毒の仕方マニュアルを作成してほしい。(希釈率等も)	No.5参照
17	幕張本郷中学校地区内町内自治会加入率が低下しています。この状況の中で町内自治会中心の避難所運営が難しくなっています。これをどう解決するか困っている。	共助という観点から、自治会や近隣住民の皆様のご協力が円滑な避難所運営には欠かせません。具体的な解決策は明示できませんが、官民連携して来るべき災害に備えていきたいと考えます。
18	台風・ゲリラ豪雨のときも避難所を開設するのでしょうか。	台風・ゲリラ豪雨の勢力等を総合的に判断した上で、風水害時にも指定避難所を開設します。
19	現状、地震対策を主に規約をつくり訓練等を実施してきたが、台風等において避難したときに地震が来たら避難所としてどのような対応方法があるか。	追加作業として避難所構造物の安全性を再確認するなどが発生しますが、その対応方法に基本的な違いは発生しないものと考えます。
20	感染症対策方法について装備品等準備はいつできるか。	No.3参照
21	段ボールベッド・パーティション等の必要があったが、いつ必要数が入手できますか。	No.6参照
22	その他の宿泊所は避難所等に対応する検討はされているのですか。	避難者の受入れについて民間宿泊施設等と協議をしています。
23	学校の教室を避難所として使用するため教育委員会と討議中とのことですが、いつ判明できますか。	No.5参照

No.	質問	回答
24	マスク、手袋、消毒薬、フェースガード等がいつ頃避難所に届くのか教えてください。	No.3参照
25	災害時の対応において行政が何をやっても住民の不満はつきません。現在の風潮でしょうか。住民の自立心を高める方法はないのでしょうか。自治会も同様です。	災害時は、様々な状態で皆様に負担が発生します。地域の皆様と千葉市が相互協力し、防災意識の向上を図って、負担軽減・不満解消を目指します。